

事業所名

放課後等デイサービスセンターまるペリー

## 支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

20 日

|           |                 |   |   |
|-----------|-----------------|---|---|
| 事業所理念     |                 | 利用児童の人権の擁護を基本に、一人ひとりの心身の状態に応じた質の高いサービスの提供に努めるとともに、児童の健全な発達・成長を支援していきます。合わせて、利用児童が「楽しい気持ち」、「できる喜び」、「自分らしさ」、「生きる力」を第一に考え、「療育の場」として活動を支援していきます。  |   |
| 支援方針      |                 | <p>(1) 子どもの発達状態に応じた基本的な日常生活動作と自立生活を支援するため、子どもが意欲的に取り組める、関われるような遊びの活動を行っていきます。</p> <p>(2) 子どもが通う学校との連携を図り、療育方針や役割分担等を共有できるように進めていきます。</p> <p>(3) 日頃から自然に触れ合う機会を設け、季節行事や野外活動を通して心豊かな感性を培っていきます。</p> <p>(4) 他の社会福祉事業や地域において行われている学習・体験・交流活動等と連携し、積極的な地域との交流を図っていきます。</p> <p>(5) 子どもが望む遊びや自分自身が気楽に活動できるプログラムを用意し、ゆったりとした雰囲気の中で行えるように工夫していきます。</p> |   |
| 営業時間      |                 | 9 時 00 分から 18 時 00 分まで  | 送迎実施の有無<br><input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし                               |
| 支 援 内 容   |                 |   |   |
| 本人支援      | 健康・生活           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の検温、手洗いやうがい、身だしなみをチェックする。</li> <li>・連絡帳を出す、持ち物の整理整頓・管理ができるようにする。</li> <li>・1日のスケジュールを把握し、職員の声掛けや時計を見て行動できるようにする。</li> <li>・食育活動を通して様々な食材に触れ、食の大切さを学ぶ。</li> </ul>  |   |
|           | 運動・感覚           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスボールとバランスボードを使って、バランス感覚を養い、合わせて体幹機能の向上を図る。</li> <li>・ドッジボール、鬼ごっこなどの遊びを通して体力をつける。</li> <li>・折り紙やブロック遊びなどで指先の感覚を鍛える。</li> <li>・感覚に特性がある児童への配慮としてイヤーマフの使用、個室利用などの環境を設定する。</li> </ul>  |   |
|           | 認知・行動           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボードゲームやカードゲームなどでルールを理解しながら記憶力のトレーニングをする。</li> <li>・工作やブロックでの完成品を、順序立てて考えながら作れるようにする。</li> <li>・様々な活動や遊びを通して、状況に合わせて行動できるようにする。</li> <li>・自分の気持ちを声に出すこと、その気持ちをコントロールできるようにする。</li> </ul>   |   |
|           | 言語<br>コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵カードや玩具を使って言葉遊びをする。</li> <li>・本を読んだり、動画を見て登場人物の言葉や感情などを理解する。</li> <li>・グループ活動を通じてコミュニケーション能力を養う。</li> <li>・言語に特性がある児童への配慮として、絵カードなどを用いたコミュニケーション支援を行う。</li> </ul>   |   |
|           | 人間関係<br>社会性     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・役割を決め、ルールを守って集団遊びができるようになる。</li> <li>・お出かけおやつや買い物などを通じて、事業所以外の方との関わり方を身に付けていく。</li> <li>・グループ活動での遊びや体験に参加して相手の気持ちや考えを理解できるようになる。</li> <li>・お年寄りの方との交流活動を通じて世代間の理解を深める。</li> </ul>   |   |
| 家族支援      |                 | サービスや支援内容、学校や就労に関して、気軽に相談できるような環境作りをします。また、保護者懇談会等を通じてお子様の状況を詳しく説明するとともに、保護者のご意見やご要望をお聞きしたいと思います。   | 移行支援<br>高校進学や就労に向けて、活動の中で物の善し悪しをしっかりと教えていき、一般的なマナーや世の中のルールを身に付けていく。更には立地条件を生かして、店で働く人との関わりを積極的に進めていく。 |
| 地域支援・地域連携 |                 | 事業所の立地条件を生かした活動（図書館、映画館、買物など）を積極的に取り組んでいきます。当法人の特徴を生かした世代間交流やボランティア活動にも参加していきます。  | 職員の質の向上<br>発達支援に関する外部研修へ積極的に参加し、合わせて計画的な内部研修（OJT）を行うことで、職員ひとり一人のレベルアップと専門職としてのスキルアップを高めていきます。         |
| 主な行事等     |                 | 食育活動（お好み焼き、ハンバーグ、餃子、ホットケーキ作りなど）、お楽しみランチ（イオンモールつがる柏店内）、映画鑑賞（シネマビレッジ8柏）、ボウリング大会、クリスマス会、モーリーファンタジー交流会、野外活動（菊ヶ丘公園、富士見湖パーク、大高山公園）、体験活動（森の中の果樹園）、軽スポーツ交流会（ポッチャ）、手作りおやつ（フライドポテト、ホットサンドなど）、お楽しみおやつ（ミスタードーナツなど）  |   |